

ポジティブ子育て 67号

～聞き合う、受け入れる～



『暑いときは、やっぱりこれだね!!』
ふじこども園



『ゴール目指して パス!シュート!』
鯖江東幼稚園



『世代を超えて みんなで楽しく やんしき踊り』
進徳小学校



『修学旅行で東陽地区活性化プロジェクト』
東陽中学校

小学校高学年～

『ワンダー』
R・J・パラシオ/作
中井はるの/訳
ほるぷ出版

『巨石運搬!』
鎌田歩/作
アリス館

小学校低学年～

『アリからみると』
桑原隆一/文
栗林慧/写真
福音館書店

『ひやくにんのおとうさん』
譚小勇, 天野祐吉/文
譚小勇/絵
福音館書店

中学校～

『地球以外に生命を宿す天体はあるのだろうか?』
佐々木貴教/著
岩波書店

小学校中学年～

『おーい、こちら灯台』
ソフィー・ブラッコール/さく
山口文生/やく
評論社

『やかし村の子どもたち』
アストリッド・リンダグリーン/作
イングリッド・ヴァン・ニイマン/絵
石井登志子/訳
岩波書店

4・5歳～

『かしこいビル』
ウィリアム・ニコルソン/さく
まつおかきょうこ,
よしだしんいち/やく
ペンギン社

親子で読んでほしい本

親子で過ごす大切な時間、読書をしてゆつたり楽しんでみてはいかがでしょうか。

第3日曜日は「家庭の日 家族ふれあいデー」

県では毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、家族ふれあい時間(家族時間)を増やす運動を推進しています。

お子さん(18歳以下)連れのご家族が特典を受けられる市内の店舗 ※令和7年4月末現在

業種区分	店舗名	提供されるサービス	優待券
お買物	昭和堂	お買い上げでスタンプ2倍サービス	要
お買物	御菓子司 大黒屋	店内商品5%割引	要
お買物	栄進堂 本店	店内商品10%割引	要
お買物	栄進堂 丸山店	店内商品10%割引	要
お買物	フルーツ・ギフトおつつか	店内商品10%割引	不要
お買物	ベルジェ ダルカディ 弁慶堂	お買い上げスタンプ2倍サービス	要
お買物	お菓子の福寿堂	店内商品5%割引(サービス券との併用は不可)	要
お買物	菓子工房やまはつ	お買上げ金額の10%割引	要
お買物	菓子処 安価堂	お子様にお菓子をプレゼント	要
お買物	手づくり菓子工房 ペルシュ	店内商品5%割引(喫茶は除く)	要
お食事	イル・ヴィゴレ(サバエ・シティーホテル)	お子様にソフトドリンクまたはデザートをサービス	要
見る・遊ぶ	エコネットさばえ	館内自由開放	不要
生活	ヨコヤマ写真館	ご家族集合写真撮影の方にキャビネサイズ額入り写真をプレゼント(要予約)	不要
生活	(株)フクシン	運動にご協力いただいている企業です	

「家族ふれあいデー」優待券

- 毎月第3日曜日「家庭の日」のみ有効です。
- 18歳以下のお子様を連れた家族の方に限ります。
(優待内容などは、各店で異なります。)
- 本券を利用される型は、各店舗の受付にご提示ください。
- 本券は、「家庭の日」のホームページからもダウンロードできます。
- 有効期限 -
2026年3月31日まで

「家族ふれあいデー」優待券

- 毎月第3日曜日「家庭の日」のみ有効です。
- 18歳以下のお子様を連れた家族の方に限ります。
(優待内容などは、各店で異なります。)
- 本券を利用される型は、各店舗の受付にご提示ください。
- 本券は、「家庭の日」のホームページからもダウンロードできます。
- 有効期限 -
2026年3月31日まで

「自己肯定感」って何？

自己肯定感とは「ありのままの自分を受け入れ、認め、肯定する感覚」となっています。つまり、「自分が自分のいいところです。でも、いいところばかりではないところもあります。」「と自分のいいところもよくないところも受け入れられるということです。



自己肯定感が高いと

相手を尊重し、思いやりのある行動をとることができたり、ポジティブ思考で何事にもチャレンジできたり、自分自身の感情や衝動を抑えることができるようになります。相手との関わりの中で、自分も相手も傷つけないことなく、気遣いや心配りがともなった振る舞いができます。さらに、自分自身を前向きに受け止めて、失敗を恐れずに前向きに過ごすことができます。

「自己肯定感」を育てるために

子どものちょっとした頑張りを認めたり、受けとめて言葉で伝えたりすることを心掛けているよ。

わかっていてもできない時があるよね。

うちの子、何でも「どうしよう。」って聞いてきて、なかなか自分からやってみようとしなくて。

ついやっちゃうけど、兄弟や他の子と比べないで、その子のいいところや頑張りを褒めたいね。

子どもの気持ちをじっくりと聞いてあげる時間を大事にしたいね。

子どもの「見て！」「これでいい？」は褒めてほしい、認めてほしいのサイン。大げさに褒めるといいと思うよ。

困っているときに、兄弟や周りの子に「どうしたらいいと思う？」と聞かけると、子ども同士の関わりの中で、挑戦する意欲が育つよ。

少しだけ難しいことに挑戦した時、その挑戦そのものを褒め、少しでもできたことを一緒に喜ぶようにしているよ。

「いいよ、いいよ。がんばっているよ。」「そのままいいんだよ。」と、今の子ども自身を認めてあげることが大事だと思うよ。



★存在を認める。

「あなたが生まれてきてくれてうれし」「そのままでもいいんだよ」と伝えることで、子どもの存在そのものを肯定します。

★上手にほめる。

一生懸命取り組んだことや頑張ったことを肯定されることによって、「もっと頑張ろう」「もう一度チャレンジしてみよう」と失敗しても前向きな気持ちになることができます。

★話をよく聞く。

楽しいことだけでなく、辛いことや悩んでいることも含めて親身になって聞いてもらえると、「自分を大切にしてもらっている」と実感できます。

★達成感を体験させる。

無理かなと思うようなことでも、自分の力で成し遂げることによって、「やればできる」「次もまた頑張ろう」という気持ちになることができます。

涓滴

子どもの心をのびのびとさせ、しかも安定させていく一つの方法は「子ども自身も自分のやってみたいことを引き出すこと」です。子ども達が「やりたいこと」を見つければ、それに熱中し、意欲的になります。そして保護者にとって子どもの気がかりなことは小さくなり、気にならなくなります。

○「聞き合う」

子ども達は、自分が何に夢中になれるのかわかりません。そのきっかけをつくるのは、子どもに「聞き合う」姿勢だと思えます。何かで困っていたり、取り組もうとしたりしているとき、「どうしたの」と聞きます。そして「そうなんだ」と続けます。子どもが話し始めるとき、まず耳を傾けます。「聞き合う」中で、子どもは、変化していきます。そして、自分がやりたいことは何か、興味をもっていることを発見していくのです。

○「一緒に考えよう」

子ども達は、勉強だけではなく友達との人間関係の悩みなど、日々問題を抱えています。しかし、その子ども達が抱えている悩みは、見方を変えれば、子どもが問題を乗り越えていく力をつけるもとにもなります。子どもが立ち往生していると感じたとき、「こうしなさい」と教えるのではなく「一緒に考えよう」とはどうでしょうか。子ども同士での話し合い、聞き合いも、一つの方法です。子ども達は、問題を楽しみながら切り開いていきます。

○「選択する」力

「どうしたらいいかな」と聞けば、いろいろな案が出てきます。その中で、子ども自身が一番取り組みやすい解決法を選択させます。これは、高校での就職・進学を前に「自己PR」を書かせた授業でのことでした。「自分のよさを探し、書いてみよう。そのとき友だちからアドバイスを受けよう。」と提案しました。生徒同士、付箋を使ってお互いのよさを伝え合う場をつくりました。生徒は、自分のよさが書かれた付箋をもとに、友だちのアドバイスの言葉から自分なりに選択し、自己の強みを生かしたPR文を書いていきました。いろいろな案をもとに、自分で自分のよさを選択していきます。選択する力は、子どもを鍛えるようです。

子どもたちの中に、ネット等の情報にさらされ、自分と比較してしまい、最後には自分を見失ってしまう子がいます。「聞き合う」「一緒に考える」「選択する」で、子どもの「やってみたいこと」を引き出す環境づくりを進めてみたらどうでしょうか。

※「涓滴」とは「しずく」という意味。しずくも集まれば、やがて大河となることの願いをこめて。